

# 各団体のキーマンに聞きました。

キャップ

## 1 北海道CAPをすすめる会

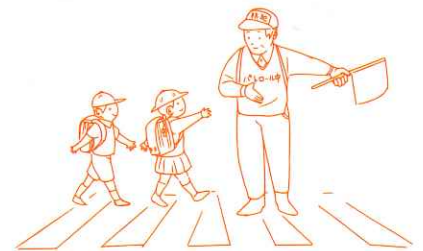
→ 提案メニューはP6



質問に答えてくれた  
水谷真理子さん

お子様が小学生の時、学校で実施されていたCAP保護者ワークショップに参加して感動したと話す水谷さん。「いやと言っていい」「逃げてもいい」「相談していい」という言葉は、目から鱗だったとのこと。子どもを暴力から守るために、是非知って欲しいと熱く訴えます。

子どもたちのために何かできることはないか?と考えている皆さまにぜひ!



### Q.お二人がイチオシする団体の活動は?

「CAPおとなワークショップ」をぜひ体験してください。子どもからおとなまでどんな世代にも通じる内容だと、とても好評です。

### Q.地域の方へひと言!

子どものSOSをキャッチできるおとなが増えることを願っています。子どももおとなも安心して暮らしていけるように、一緒に考えてみませんか?



## 2 心のケア・ステーション

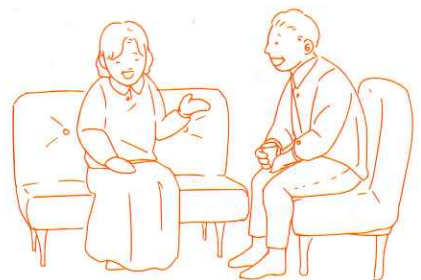
→ 提案メニューはP7



質問に答えてくれた  
佐藤真智子さん

応用心理学教室で学び、カウンセラーの資格を取得したことがきっかけで電話相談のお手伝いをはじめ、その後、気が付いたら事務局になっていたと話す佐藤さん。並行して中学校の心の教室で不登校に悩む生徒さんや親御さんの支援も頑張ってます。

カウンセリングとコラージュがおススメ!



### Q.団体の活動を教えてください。

主な活動は無料電話相談と親子箱庭の体験です。子育て講座や子育てサロン、心理学の研修会なども行っています。

### Q.地域の方へひと言!

昨年はとても楽しく笑顔の中で活動することが出来ました。今年も子育て真っ最中のお母さん、そして人生の先輩たちと感動の時間を共有したいと思っています。是非ご一緒に。

